

2026年12月期 第1四半期
決算説明会資料

株式会社ブロードリーフ

2026年5月13日

第1四半期の決算概要	P 3
上期・通期の業績予想	P13
受発注プラットフォームについて	P20
トピックス	P25

第1四半期の決算概要

事業環境

良好



- 人手不足や業務効率化ニーズを背景に、お客様によるDX強化の基調は継続中
- 中東情勢の影響は足元では顕著でないものの、今後のお客様事業への波及は要注視

事業進捗

順調



- お客様ごとに設定したクラウドへの移行時期を厳守すべく、導入活動に注力中
- 大手のお客様中心に高度化・多様化するニーズに応えるべく、個社対応も強化中

業績

好調



- 連結決算適用（2016年12月期）以降での第1四半期の最高業績を更新
- 上期および通期業績予想に対する進捗は順調

良好な事業環境のもと提供価値の向上を継続推進し、大幅な増収増益を達成

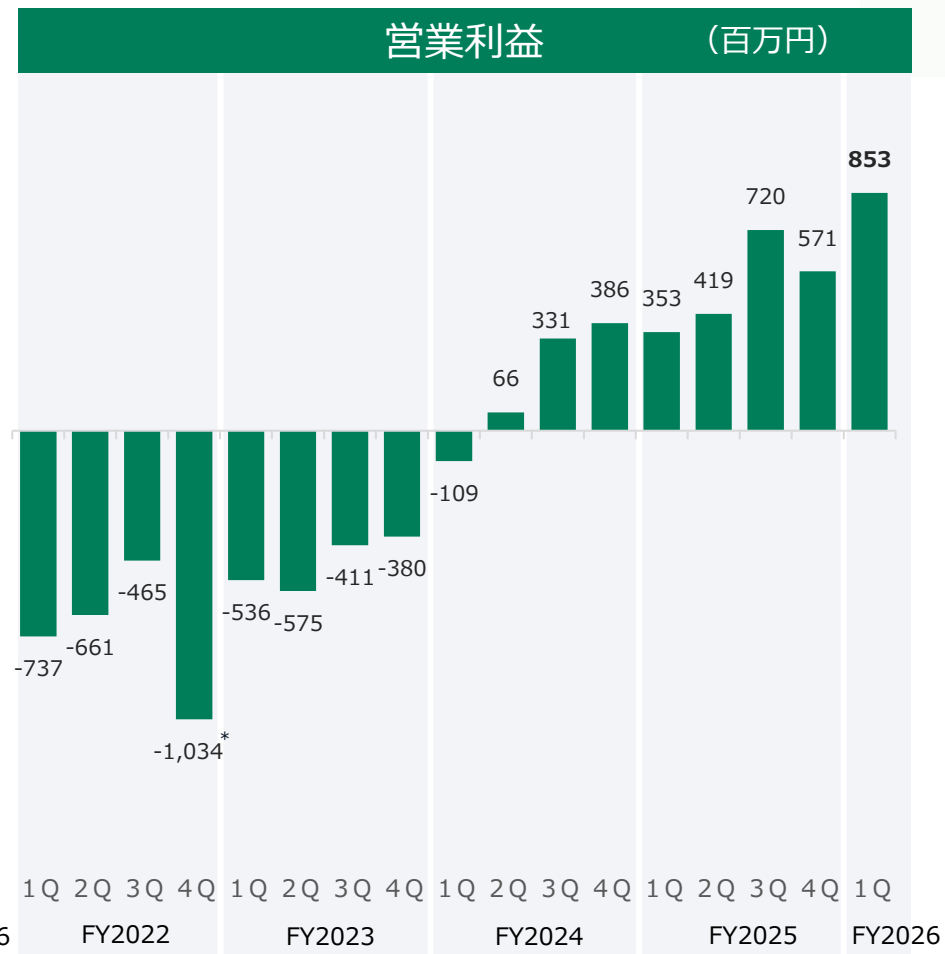
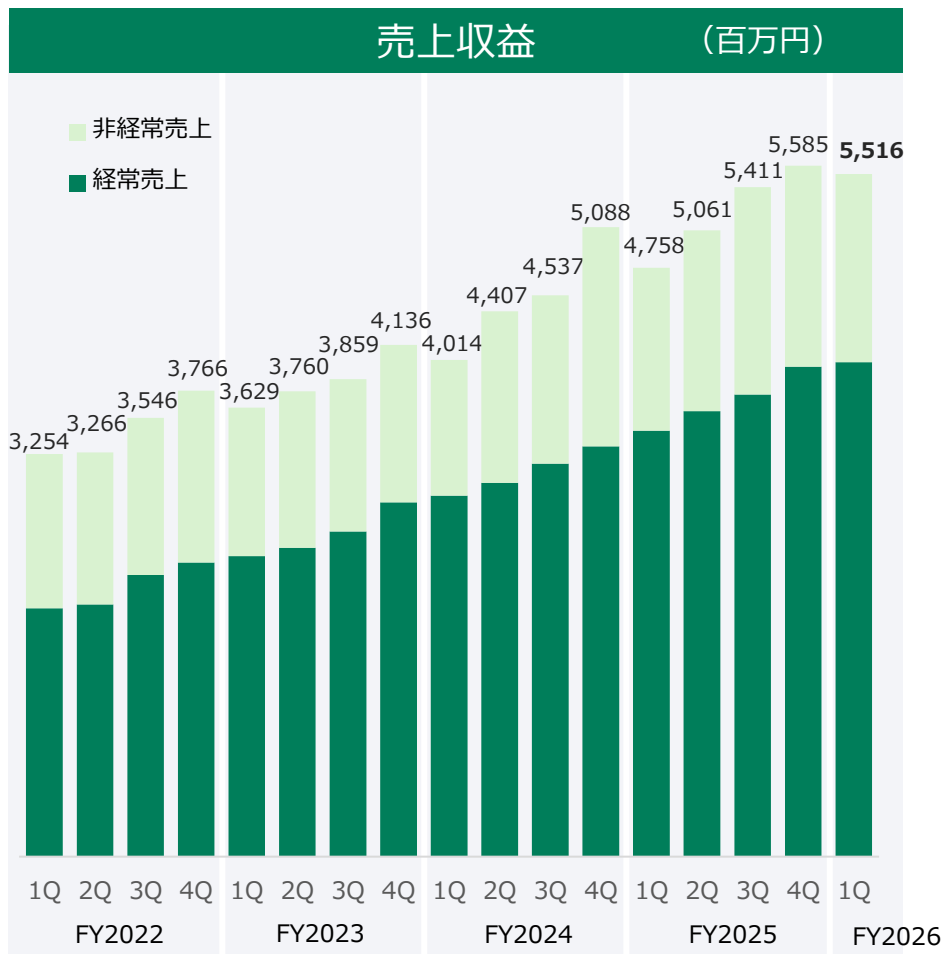
(百万円)	FY2026 1Q	FY2025 1Q	増減額	増減率
売上収益	5,516	4,758	+758	+15.9%
売上原価	1,767	1,638	+129	+7.9%
売上総利益	3,749	3,120	+629	+20.2%
販売費及び一般管理費他	2,896	2,767	+129	+4.7%
営業利益	853	353	+500	+141.8%
税引前四半期利益	834	298	+536	+180.0%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	540	196	+344	+175.1%
基本的1株当たり四半期利益	5.98円	2.19円	-	-

パッケージシステムの契約満了に合わせ、高付加価値なクラウドサービスを提供

(百万円)	FY2026 1Q	FY2025 1Q	増減額	増減率
クラウドサービス	3,398	2,490	+908	+36.5%
ソフトウェアサービス	3,279	2,356	+923	+39.2%
ソフトウェア	2,920	2,098	+822	+39.2%
保守契約費	192	127	+65	+51.2%
初期導入費	166	130	+36	+27.5%
マーケットプレイス	119	134	-15	-11.0%
パッケージシステム	1,350	1,610	-259	-16.1%
ソフトウェア販売	468	393	+76	+19.3%
運用・サポート	882	1,217	-335	-27.5%
その他	768	659	+109	+16.6%
ハードウェア	605	489	+115	+23.6%
サプライ	163	170	-6	-3.6%
合計	5,516	4,758	+758	+15.9%
経常売上*	3,995	3,442	+552	+16.0%
経常売上比率	72.4%	72.3%	-	-

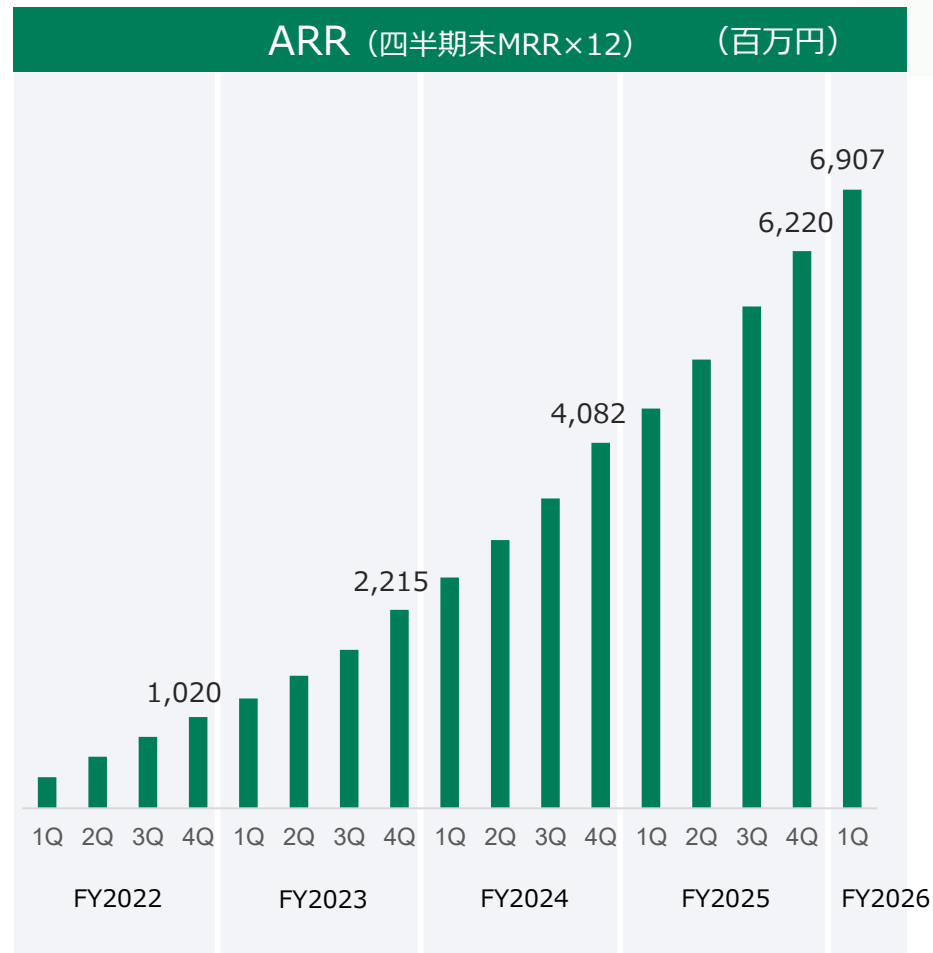
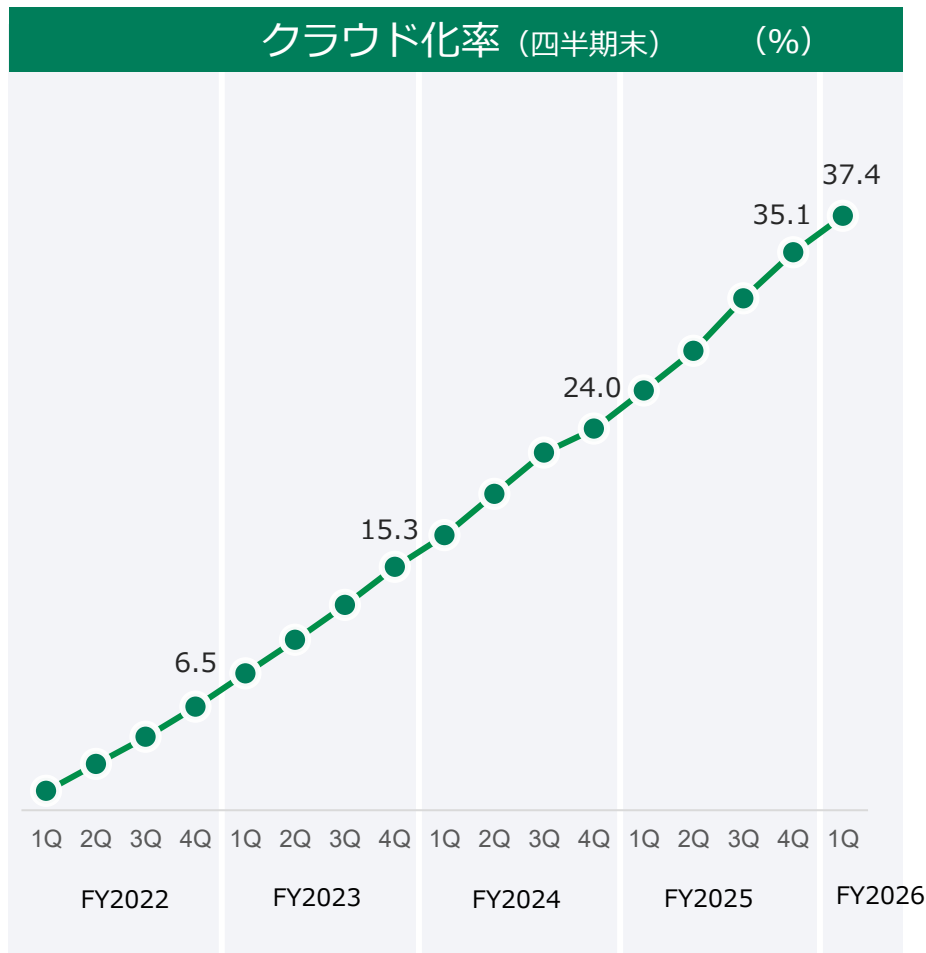
*経常売上: ソフトウェアサービスのソフトウェア、保守契約費および運用・サポートの合計

クラウドサービスの浸透に比例して、経常売上の増加継続と高い利益成長が実現



* FY2022の4Qは子会社のれんの減損を実施 (-615百万円)

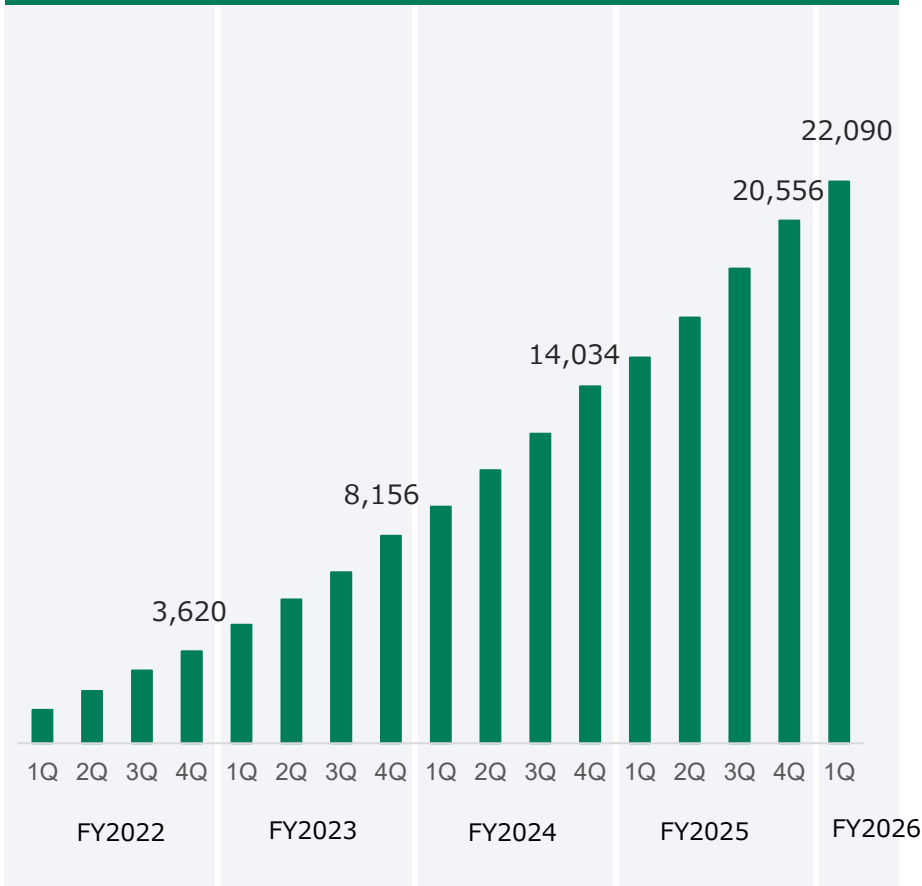
2028年末100%に向けたクラウド化率の上昇が、ARR増加の主要因の一つ



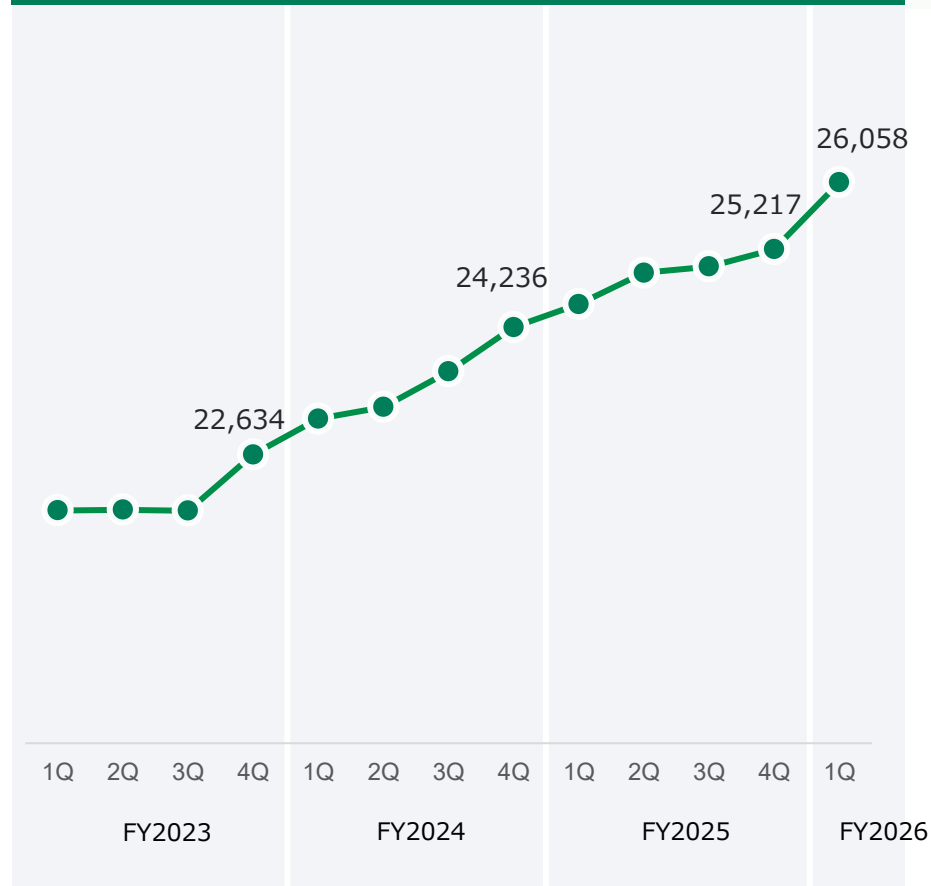
補足) クラウド化率：リリース済みクラウドソフトの全対象企業のうちクラウドソフト導入済み企業の割合

準大手以上への導入割合が増加しているため、ARPLは上昇を継続

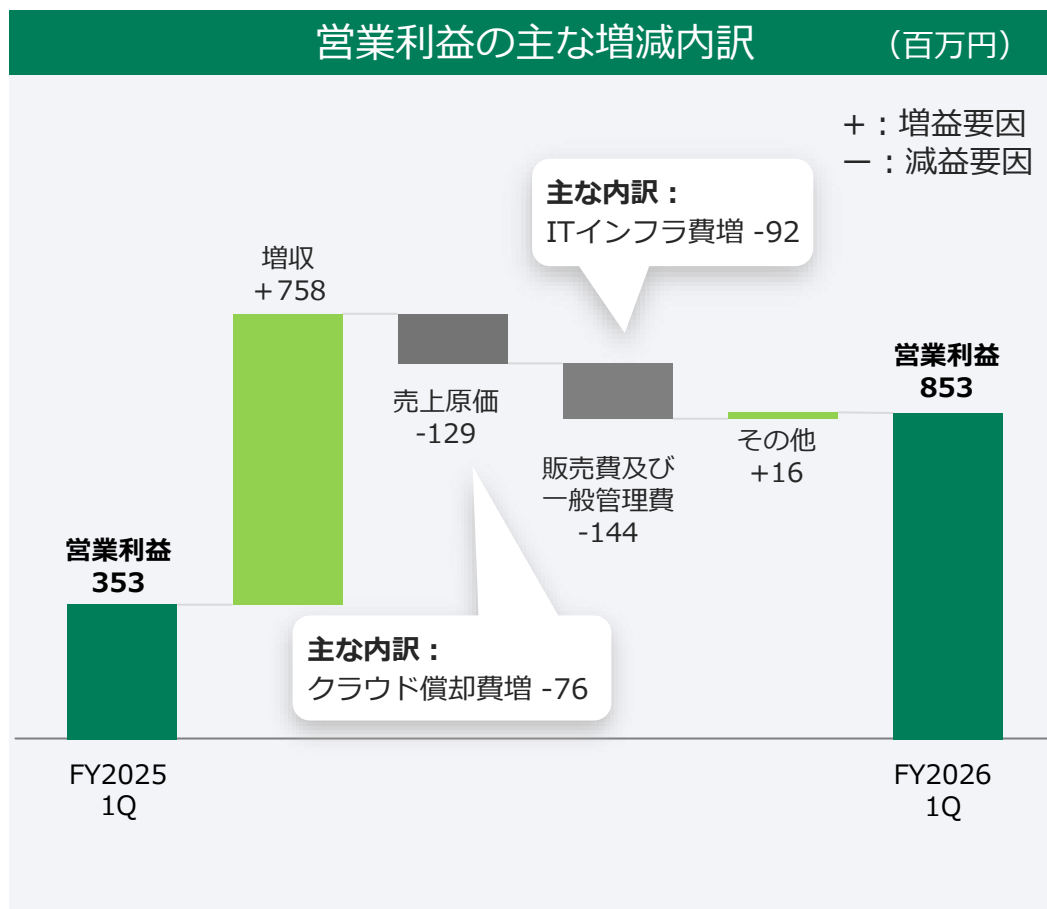
ライセンス数 (四半期末)



ARPL (ライセンス当たり月額売上) (円)



お客様のクラウド化進展と並行し、機能拡張と性能強化の投資を継続



売上原価

- ・クラウドソフトの機能拡張に伴いクラウド償却費が増加
- ・PCを中心としたハードウェアの増収に伴い仕入高が増加

販売費及び一般管理費

- ・クラウドサービス提供のためのITインフラ費が増加
- ・サービスプロモーションの積極化などにより広告宣伝費が増加

クラウドサービスの付加価値向上を目的とした開発投資を継続中

(百万円)	FY2026 1Q	FY2025 期末	増減額	主な増減内訳
流動資産	7,515	8,464	-949	現金及び現金同等物-728 営業債権及びその他の債権-292
非流動資産	34,425	32,960	+1,464	有形固定資産+1,003* 無形資産 +461
資産合計	41,940	41,425	+516	—
流動負債	14,689	15,344	-655	その他流動負債-453
非流動負債	2,642	1,788	+855	長期有利子負債 +861
負債合計	17,332	17,132	+200	—
資本合計	24,608	24,293	+316	当期利益+529
負債及び資本合計	41,940	41,425	+516	—

* ブロードリーフ本社オフィスビル賃貸契約の更新

クラウド機能拡張を中心とした投資額（無形資産）は前年同期比で減少傾向

(百万円)	FY2026 1Q	FY2025 1Q	増減額	主な増減内訳
営業活動によるキャッシュフロー	1,242	337	+905	税引前利益の増加+536 営業債権及びその他の債権の減少+152
投資活動によるキャッシュフロー	-1,120	-1,171	+51	無形資産の取得による支出の減少+59
財務活動によるキャッシュフロー	-850	-158	-692	短期借入金の純減額-500 配当金の支払額の増加-137
フリーキャッシュフロー	122	-834	+956	—
現金及び現金同等物の期末残高	3,393	3,333	+60	—

上期・通期の業績予想

コスト構成のみを見直し、売上収益および営業利益以下の予想は変更なし

(百万円)	FY2026 上期 今回予想	FY2026 上期 前回予想*	修正額	FY2025 上期	増減額	増減率
売上収益	10,400	10,400	±0	9,819	+581	+5.9%
売上原価	3,300	3,100	+200	3,448	-148	-4.3%
売上総利益	7,100	7,300	-200	6,371	+729	+11.4%
販売費及び一般管理費他	6,000	6,200	-200	5,600	+400	+7.1%
営業利益	1,100	1,100	±0	771	+329	+42.6%
税引前中間利益	1,050	1,050	±0	600	+450	+75.0%
親会社の所有者に帰属する 中間利益	700	700	±0	417	+283	+68.0%
基本的 1 株当たり中間利益	7.74円	7.74円	-	4.64円	+3.10円	-

* 2026年2月12日公表

クラウド化進展は計画に沿っており、ソフトウェアサービスは予想に変更なし

(百万円)	FY2026 上期 今回予想	FY2026 上期 前回予想*	修正額	FY2025 上期	増減額	増減率
クラウドサービス	6,950	7,000	-50	5,336	+1,614	+30.2%
ソフトウェアサービス	6,700	6,700	±0	5,076	+1,624	+32.0%
マーケットプレイス	250	300	-50	260	-10	-4.0%
パッケージシステム	2,350	2,600	-250	3,002	-652	-21.7%
ソフトウェア販売	700	600	+100	719	-19	-2.6%
運用・サポート	1,650	2,000	-350	2,283	-633	-27.7%
その他	1,100	800	+300	1,481	-381	-25.7%
ハードウェア	800	500	+300	1,142	-342	-29.9%
サプライ	300	300	±0	340	-40	-11.7%
合計	10,400	10,400	±0	9,819	+581	+5.9%

* 2026年2月12日公表

上期と同様にコスト構成のみ見直し、創業以来の最高営業利益となる見通し

(百万円)	FY2026 通期 今回予想	FY2026 通期 前回予想*	修正額	FY2025 通期	増減額	増減率
売上収益	23,500	23,500	±0	20,815	+2,685	+12.9%
売上原価	7,000	6,500	+500	7,296	-296	-4.1%
売上総利益	16,500	17,000	-500	13,520	+2,980	+22.0%
販売費及び一般管理費他	11,700	12,200	-500	11,457	+243	+2.1%
営業利益	4,800	4,800	±0	2,063	+2,737	+132.7%
税引前利益	4,750	4,750	±0	1,854	+2,896	+156.2%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	3,200	3,200	±0	1,240	+1,960	+158.0%
基本的 1 株当たり当期利益	35.35円	35.35円	-	13.79円	+21.56円	-

* 2026年2月12日公表

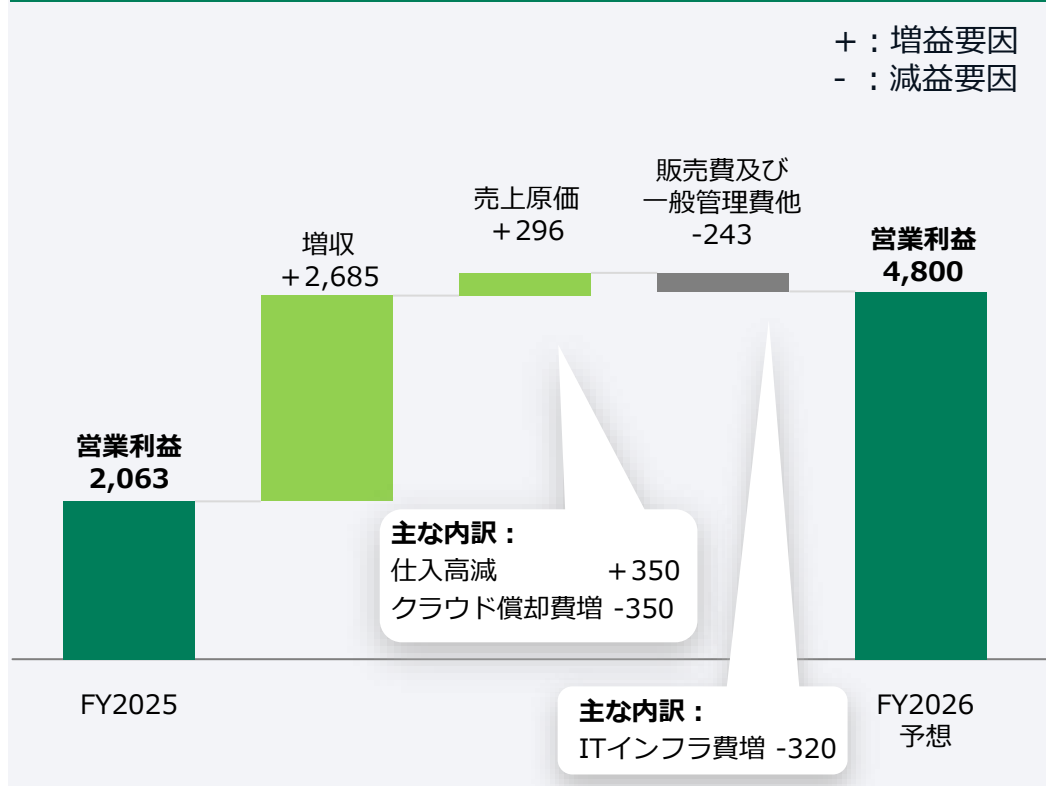
売上牽引役となるソフトウェアサービスが下期で加速する見通しに変更なし

(百万円)	FY2026 通期 今回予想	FY2026 通期 前回予想*	修正額	FY2025 通期	増減額	増減率
クラウドサービス	15,600	15,700	-100	11,832	+3,768	+31.8%
ソフトウェアサービス	15,000	15,000	±0	11,302	+3,698	+32.7%
マーケットプレイス	600	700	-100	530	+70	+13.2%
パッケージシステム	5,000	5,500	-500	5,699	-699	-12.3%
ソフトウェア販売	1,800	1,600	+200	1,441	+359	+24.9%
運用・サポート	3,200	3,900	-700	4,258	-1,058	-24.8%
その他	2,900	2,300	+600	3,285	-385	-11.7%
ハードウェア	2,300	1,700	+600	2,613	-313	-12.0%
サプライ	600	600	±0	672	-72	-10.7%
合計	23,500	23,500	±0	20,815	+2,685	+12.9%

* 2026年2月12日公表

通期での総コスト（原価＋販管費）は前期水準となるようコントロールを実施

営業利益の主な増減内訳 (百万円)



売上原価

- ・ PC更新需要が落ち着くことにより仕入高が減少
- ・ クラウドソフトの機能拡張に伴いクラウド償却費が増加
- ・ 原価計上分の開発費が減少

販売費及び一般管理費他

- ・ クラウドサービス提供のためのITインフラ費が増加
- ・ 営業活動や販促の活発化に伴い交通費や広告宣伝費が増加
- ・ AI時代に事業成長を加速させるため高度人材の採用・育成を強化
- ・ AIの積極活用による業務の効率化を通じ、各種経費を削減

株式流動性などを含めた総合的な観点で、配当政策を適宜検討する方針

一株当たり配当金

	FY2026 予想	FY2025
中間配当	7.50円	2.50円
期末配当	7.50円	3.50円
年間配当	15.00円	6.00円
連結配当性向	42.4%	43.5%

配当政策

【基本方針】

株主還元を経営の重要課題と位置づけており
連結配当性向「40%以上」を目処

株式価値の向上につながるよう、株式流動性などを含めた総合的な観点から、臨機応変かつ機動的に株主還元策を実施

【補足】

2027年12月期以降は、最高利益を更新していく見込みの中、AI時代における新たな成長戦略の検討と合わせ、資本政策を最適化する方向

受発注プラットフォームについて

限界利益率が高い収益構造であることから、売上増加に伴い利益率が上昇

(百万円)	実績				予想*1		
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
売上収益	13,833	15,385	18,045	20,815	23,500	27,500	32,000
営業利益*2	-2,897	-1,902	674	2,063	4,800	9,000	13,000
営業利益率	-	-	3.7%	9.9%	20.4%	32.7%	40.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益*2	-2,431	-1,487	343	1,240	3,200	6,000	8,500
当期利益率	-	-	1.9%	6.0%	13.6%	21.8%	26.6%
基本的 1株当たり当期利益*3	-	-	3.85	13.79	35.35	66.28	93.90

*1 2026年2月12日公表

*2 -は損失

*3 FY2025末の株式数を算出に適用



2027年12月期以降、マーケットプレイスも売上増加に寄与する見込み

(百万円)	実績				予想*		
	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
クラウドサービス	2,748	5,459	8,210	11,832	15,600	20,900	26,800
ソフトウェアサービス	2,078	4,810	7,626	11,302	15,000	19,600	24,300
マーケットプレイス	670	649	584	530	600	1,300	2,500
パッケージシステム	9,230	8,021	7,450	5,699	5,000	4,500	3,300
ソフトウェア販売	2,430	1,828	1,941	1,441	1,800	1,600	1,500
運用・サポート	6,800	6,194	5,508	4,258	3,200	2,900	1,800
その他	1,854	1,904	2,386	3,285	2,900	2,100	1,900
ハードウェア	1,108	1,156	1,689	2,613	2,300	1,500	1,300
サプライ	746	749	697	672	600	600	600
合計	13,833	15,385	18,045	20,815	23,500	27,500	32,000

* FY2026は2026年5月13日公表
FY2027とFY2028は2月12日公表

マーケットプレイス売上は、受発注プラットフォームの取引手数料などにより構成

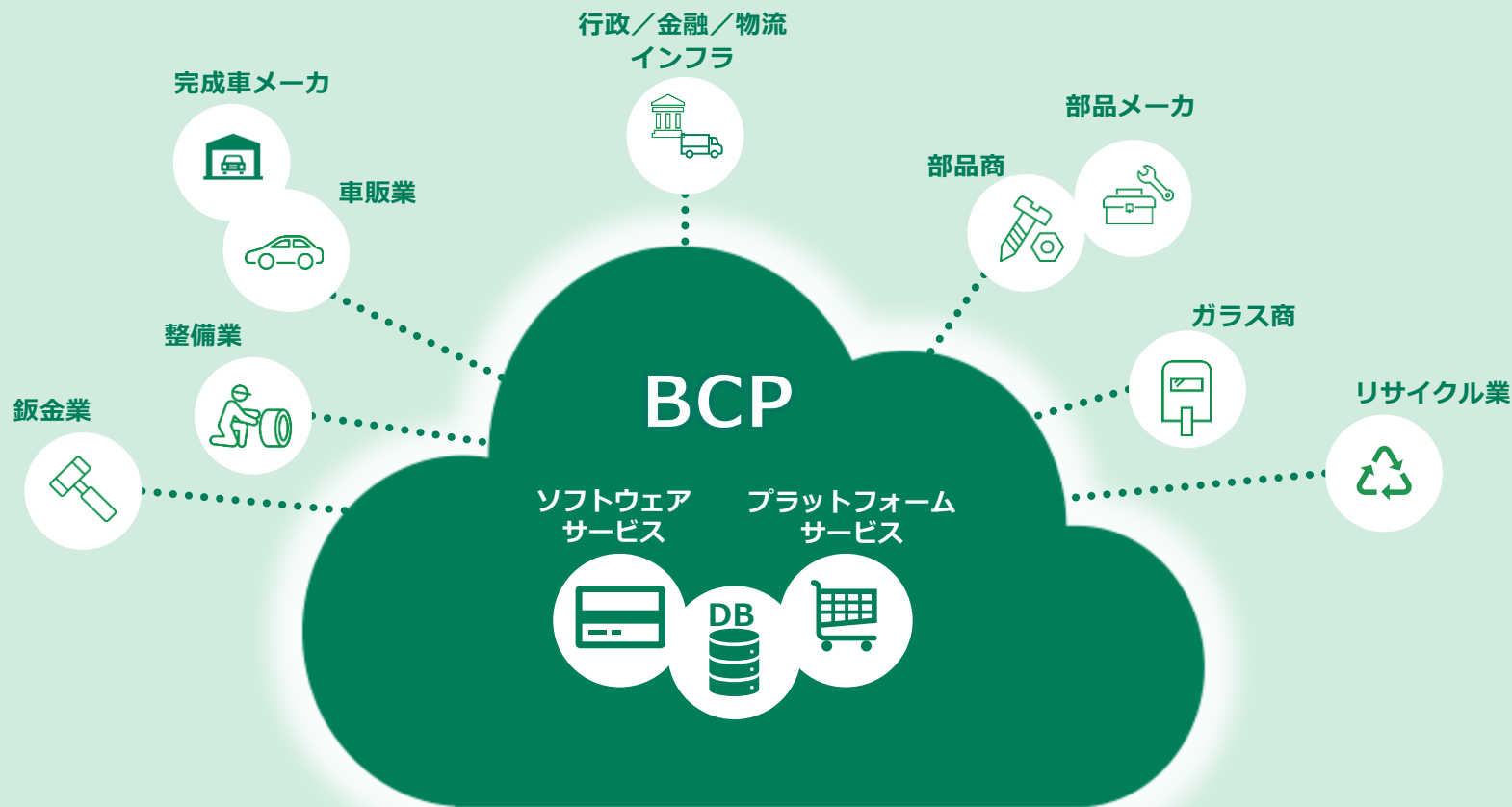
受発注プラットフォーム（自動車補修部品版）

	EDI	B2B EC
向いている取引	 <p>定番品・継続発注・固定取引先との取引</p>	 <p>比較購買・スポット調達・新規取引先との取引</p>
売り手のメリット	<p>既存顧客との受注業務を効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 受注処理の省力化 書類作成・送受信の効率化 	<p>新規顧客接点の拡大と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 得意先以外にも販売可能 在庫回転の向上 販売機会の拡大
買い手のメリット	<p>いつもの部品を素早く正確に調達</p> <ul style="list-style-type: none"> 定番品の再発注が容易 納期確認や手配を効率化 	<p>選択肢を広げ、最適な条件で購買</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い出品から調達可能 価格や納期を比較しやすい 必要な部品を見つけやすい

主な売り手である部品商のクラウドソフト化が2026年中盤以降に進展することに伴い
受発注プラットフォームでのトランザクション件数や取引金額が増加する見込み

BCPはモビリティ産業のネットワーク基盤であり、
クラウドソフトはサービスメニューのひとつ（プラットフォームへの入り口のひとつ）

業種業態や各企業をつなぐネットワーク基盤 = 産業インフラ



トピックス

伊藤忠商事らが出資する株式会社WECARSに対し、全国の整備拠点における車検業務の透明性と適正性の確保に向け、自動車整備業向けクラウドサービス『Maintenance.c（メンテナンスドットシー）』の提供を開始しました。（2026年3月発表）



WECARSでは、整備内容の可視化や作業記録の電磁的保存を通じたコンプライアンス強化に取り組まれております。このたびのブロードリーフのクラウドサービス『Maintenance.c』の導入は、これらをより確実に実現するための基盤となります。



詳細はこちら



https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=352&dispmid=1002

一般社団法人日本自動車会議所が主催する「クルマ・文化・社会・パートナーシップ大賞（以下、CSP大賞）」において、環境貢献賞を受賞しました。（2026年3月発表）



本プロジェクトは、「1社では成しえない活動を、趣旨に賛同する企業とともに推進する」という企業参画型モデルを特徴としています。現在では、整備・钣金・車両販売・部品商などのモビリティ関連事業者に加え、メガバンクやリース会社など多様な業種の130社以上が参画し、パートナーシップ型のSDGs貢献プラットフォームとして活動を展開しています。

写真左から、一般社団法人日本自動車連盟 副会長 蓮花 一己 様、一般社団法人日本自動車会議所 会長 豊田 章男 様、当社 代表取締役社長 大山 堅司、当社 執行役員 小暮 勝也、株式会社日刊自動車新聞社 代表取締役社長 花井 真紀子 様（2026年3月16日開催 第5回 CSP大賞 表彰式にて）

詳細はこちら



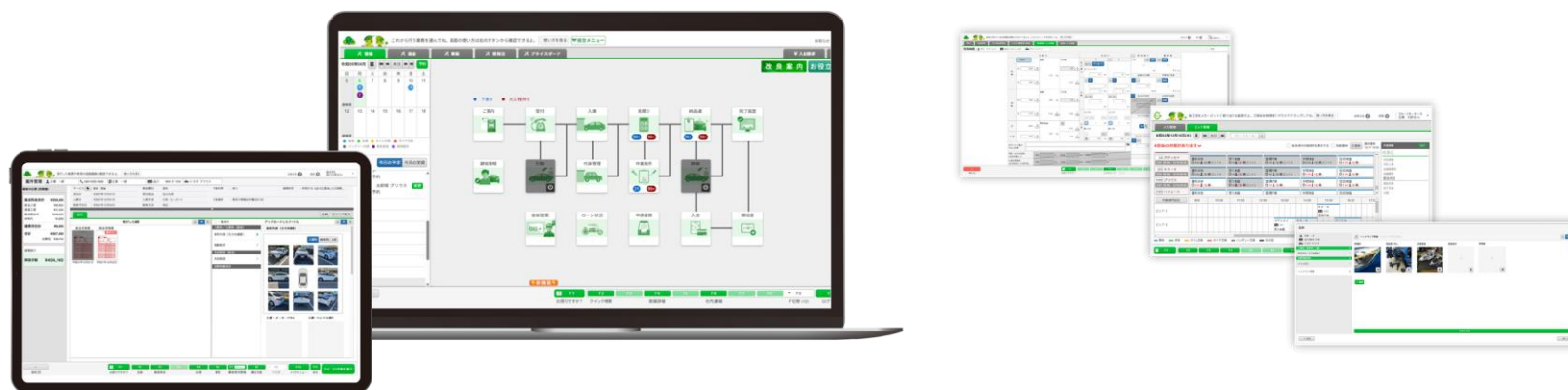
https://www.broadleaf.co.jp/company/press/press_detail/?itemid=351&dispmid=1002

2026年4月発売の「ダイヤモンドZAI 6月号」において、当社の掲載がありました。



誌面では、当社が「AIに代替されないクラウド関連株」として取り上げられ、長年蓄積してきた独自データベースの強みや、今後の業績拡大、増配の見通しなどの観点から紹介されています。

なお、本資料では著作権等に配慮し、掲載誌の表紙のみをご紹介しており、記事本文の掲載は行っておりません。



本資料に記載されている業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点での入手された情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

お問い合わせ先

株式会社ブロードリーフ
インベスターリレーションズ室
E-mail : bl-ir@broadleaf.co.jp